教育研究業績及び社会貢献等業績リスト(個人用)

1.教員基本情報

氏名（ふりがな）：山下　純一（やました　じゅんいち）	
所属：一般科目人文系	役職：准教授
学位等：教育学修士	
所属学会：北海道英語教育学会，全国英語教育学会，大学英語教育学会北海道支部， 大学英語教育学会，日本学生相談学会	

2.教育研究業績

査読付き論文，国際会議論文(過去　５年間の　・　３年間の　・　全ての　・　主要な　実績)	
1.	Junichi, Y. & Yoshiki, Y. (2004). EFL Learners' L1 Use as Reading Strategies:The Effects of L2 Text Types and L2 Reading Proficiency. *ARELE, 15,* 169-178.
2.	山下純一・横山吉樹. (2004). 「第二言語学習者が用いるリーディングストラテジーの発達についての考察」. *HELES JOURNAL, 4.* 65-82.
3.	臼田悦之・志村昭暢・横山吉樹・山下純一・中村洋.(2009).「教科書におけるスピーキング活動のタスク生に関する分析―中学校英語教科書の場合」. *HELES JOURNAL, 9*, 17-32.
4.	中村洋・山下純一.(2010).　「小・中連携の視点からの『英語ノート』の分析―小学校外国語活動で子供たちは何を学んでくるのか―」. *HELES JOURNAL, 10*, 55-65.
5.	山下純一・中村洋.(2011).「小学校外国語活動における文字指導について―中学校１年生の意識調査を基に―」. *HELES JOURNAL, 11*, 51-60.
6.	Yamashita, J., & Yokoyama, Y.(2011). EFL Learners' Reading Strategies: their Development and the Effect of Text Modification. *Research Bulletin of English Teaching, 8*, 19-41.
7.	臼田悦之・志村昭暢・横山吉樹・竹内典彦・中村洋・山下純一・川上昌志.(2012). スピーキング活動のタスク性調査―中学校新旧教科書を比較した場合―. *HELES JOURNAL, 12*, 21-35.
8.	臼田悦之・志村昭暢・横山吉樹・中村洋・山下純一・竹内典彦・川上昌志・白鳥亜矢子.(2013). コミュニケーション活動のタスク性分析―学習指導要領改訂後の中学校教科書を比較した場合―. *HELES JOURNAL, 13,* 3-20.
9.	志村昭暢・山下純一・臼田悦之・横山吉樹・萬谷隆一・中村洋・竹内典彦・河上　昌志.(2015). 「小学校外国語教材と中学校英語教科書のコミュニケーション活動の比較－タスク性と動機づけを高める要素を中心に－」. *JES Journal, 15*, 111-124.
その他の論文(過去　５年間の　・　３年間の　・　全ての　・　主要な　実績)	
	（学会発表等論文集）
1.	臼田 悦之・志村 昭暢・横山 吉樹・白鳥亜矢子・竹内 典彦・中村 洋・山下 純一.(2009).

	『教科書スピーキング活動はどのくらい『タスク』らしいかーＴＢＬＴの観点から中学校教科書を見た場合ー』, 第 35 回全国英語教育学会鳥取研究大会, 研究発表.
2.	中村洋・山下純一. (2009). 『小・中連携の視点からの 『英語ノート』の分析 ―小学校外国語活動で子供たちは何を学んでくるのか―』, 北海道英語教育学会第 10 回研究大会, 研究発表.
3.	山下純一・中村洋. (2010)『小学校外国語活動における文字指導の有効性についてー学習者への意識調査と韓国の事例との比較を基にー』, 第 36 回全国英語教育学会大阪大会, 研究発表.
4.	山下純一. (2010). 『函館高専における新入生の文法知識について―新入生対象のアンケート調査を足掛かりとして―』, 全国高等専門学校英語教育学会第 34 回研究大会, 研究発表.
5.	中村洋・山下純一(2010).『小学校外国語活動における文字活動の有効性について―韓国の教育制度との比較を手がかりして―』, 北海道英語教育学会第 11 回研究大会, 研究発表.
	中村洋・山下純一(2011).『小学校外国語活動を経験した中学生の意識面及び語彙力の変化の分析ー中学校入学後 1 年間の継続的調査を基としてー』, 第 37 回全国英語教育学会山形研究大会, 研究発表.
6.	中村洋・山下純一. (2012). 『中学校における書く活動が英語学習に対する意識にどのように作用するか ―外国語活動を経験して入学した生徒の継続的調査を基として―』, 第 38 回全国英語教育学会愛知研究大会, 研究発表.
7.	臼田 悦之・志村 昭暢・横山 吉樹・竹内 典彦・中村 洋・山下 純一・河上 昌志. (2012). 『中学校教科書におけるスピーキング活動のタスク性調査―新旧教科書の比較―』, 第 38 回全国英語教育学会愛知研究大会, 研究発表.
8.	山下純一. (2012). 『定期試験等の年間行事にリンクした学習習慣の育成支援～学習記録に主眼を置いた効果的な指導をめざして～』, 平成 24 年度全国高専教育フォーラム, 研究発表.
9.	中村洋・山下純一. (2012). 『中学校英語教科書で扱われるライティング活動についての一考察ー新旧教科書の比較を中心にー』, 北海道英語教育学会 第 13 回研究大会, 研究発表.
10.	臼田悦之・志村昭暢・横山吉樹・中村 洋・白鳥亜矢子・角田友理恵・山下純一・竹内典彦 ・河上昌志. (2012). 『学習指導要領の改訂で新課程の教科書のタスク性はどう変わったか？』, 北海道英語教育学会大 第 13 回研究大会, 研究発表.
11.	臼田悦之・志村昭暢・竹内典彦 ・中村 洋・山下純一・河上昌志・白鳥亜矢子. (2013). 『中学校教科書のタスク性に関する分析 ―学習指導要領改訂でタスク性に変化は見られたか？―』, 第３９回全国英語教育学会北海道研究大会, 研究発表.
12.	中村洋・山下純一. (2013). 『中学校におけるライティング活動と学習者の学習意識との関連性―中学校３年間の継続的調査を基として―』, 第３９回全国英語教育学会北海道研究大会, 研究発表.
13.	山下純一・柳谷俊一. (2013). 『発達障がい学生への支援方法に対する理解向上のための

	取組みー外部機関との連携による教員研修を通してー』，平成 25 年度全国高専教育フォーラム，研究発表.
14.	臼田悦之・山下純一.(2013).『英語授業における習熟度別少人数授業の効果』，平成 25 年度全国高専教育フォーラム，研究発表.
15.	山下 純一・志村 昭暢・萬谷 隆一・横山 吉樹・臼田 悦之・竹内 典彦・中村 洋・河上昌志.（2014）.『小学校外国語活動教科書と中学校英語教科書のタスク性から見たコミュニケーション活動の比較』，第 14 回小学校英語教育学会神奈川大会，研究発表
16.	中村　洋・山下　純一.(2014).『小学校外国語活動の成果の分析』，第 14 回小学校英語教育学会神奈川大会，研究発表
17.	山下 純一・志村 昭暢・臼田 悦之・萬谷 隆一・中村 洋・竹内 典彦・河上昌志・沢谷佑輔.（2014）.『小学校外国語活動教材と中学校教科書のコミュニケーション活動の比較ータスク性・ＭＯＬＴの観点を中心に』，第 40 回全国英語教育学会徳島研究大会，研究発表
18.	中村　洋・山下　純一.(2014).『グローバル化に対応した英語教育の充実ー中学校におけるライティング活動を例にー』，第 40 回全国英語教育学会徳島研究大会，研究発表
19.	山下純一・柳谷俊一.(2014).『外部機関と連携した発達障がい学生への支援方法に関する教員研修会』，平成 26 年度全国高専教育フォーラム，研究発表
20.	中村洋・山下純一.(2014).『英語科の授業へのユニバーサルデザインの導入』，北海道英語教育学会第 15 回研究大会，研究発表
21.	中村洋・山下純一.(2015).『小中連携の視点からの小学校での文字指導の成果と課題 の分析』第 15 回小学校英語教育学会（JES）広島大会，研究発表
22.	山下純一・志村昭暢・萬谷隆一・横山吉樹・臼田悦之・竹内典彦・中村洋・河上昌志・照山秀一.(2015).『小学校・中学校・高等学校の英語教科書・教材のタスク性から見たコミュニケーション活動の比較』第 41 回全国英語教育学会熊本研究大会，研究発表
23.	中村洋・山下純一.(2015).『小中連携の視点からの小学校での文字指導の成果と課題の分析』第 41 回全国英語教育学会熊本研究大会，研究発表
24.	中村洋・山下純一・沢谷佑輔.(2015).『英語科授業へのユニバーサルデザインの導入』第 16 回北海道英語教育学会研究大会，研究発表
25.	山下純一・志村昭暢・臼田悦之・竹内典彦・河上昌志・照山秀一・中村洋・小山友花里・沢谷佑輔.(2016).『中学校英語教科書諚タスク性か ら見たコミュニケーション活動諚分析ー平成２８年度から使用開始さ れた教科書についてー』第 42 回全国英語教育学会埼玉研究大会，研究発表
26.	中村洋・山下純一.(2016).『ユニバーサルデザイン諚視点を 取り入れた英語授業諚考察』第 42 回全国英語教育学会埼玉研究大会，研究発表
27.	山下純一・志村昭暢・臼田悦之・竹内典彦・河上昌志・照山秀一・中村洋・小山友花里・沢谷佑輔.（2016）.『英語教科書のスピーキング活動をより実生活の場面につなげる工夫

	- タスク性分析の視点から』第１７回北海道英語教育学会研究大会，ワークショップ （その他発表・招待講演）
28.	山下純一.(2011).『発達障がい学生支援について』,平成 23 年度特別支援教育セミナー(渡島地区)，発表.
29.	山下純一.(2012). 『低学年における学生の実態に応じた学習支援～学級担任だからこそできる取り組み～』,平成 24 年度九州沖縄地区国立高等専門学校教員研究集会,招待講演.
30.	山下純一.(2013).『函館高専における障がい学生に対する支援の実態』，平成 24 年度特別支援教育実践報告会（渡島地区），招待講演.
31.	山下純一.(2015).『学生支援の考え方と学生支援コーディネーターの役割－函館高専における取り組みを通して－』 平成 27 年度四国地区高等専門学校学生相談連絡協議会　兼平成 27 年度第 2 回阿南高専教職員メンタルヘルス研修会　 2015 年 9 月 8 日，招待講演
著　書(過去　全ての　実績)	
	なし
特　許　等	
	なし

3. 社会貢献，外部資金等業績

社会貢献，外部研究費，共同研究，受賞等(過去　５年間　・　３年間　・　全て)	
	（外部資金）
1.	『発達障がい学生の困り感を解消するユニバーサル教材の開発と ICT 共有』平成 26 年度～平成 28 年度科学研究費助成事業基盤研究Ｃ，研究分担者（研究代表者：奥本良博）
2.	『小・中・高の英語の教科書・教材におけるスピーキング活動のタスク性からの分析』平成 28 年度～平成 30 年度科学研究費助成事業基盤研究Ｃ，研究代表者
	（受賞）
3.	一般財団法人英語教育協議会 ELEC 賞 『ライティング活動が中学生の英語学習意欲に与える 影響　―中学校 3 年間の継続的な調査を基に』　受賞者: 中村洋・山下純一，2015 年 2 月

4. 校務実績

校務実績（過去　全て）	
	学生支援コーディネーター(2010 年～) 英語科主任（2014 年～）

業績について「過去 3 年（5 年)」,「主要なもの」を記載した方で，それ以前の業績を ReaD 等の外部データベースに記載している方は，その URL を記載して下さい.

http://researchmap.jp/read0150568/

更新日　2017/1/20